

## 第25回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成26年6月17日 18時30分開始

2. 開催場所 FMぎんが2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数 7名

委員出席 6名

出席委員の氏名 井手聡委員長 中間隆志委員 加藤俊文委員  
吉見満雄委員 下吉秀知委員 福永領子委員

放送事業者側出席者 中崎宗治代表取締役社長 中崎啓文局長 濱田英作

4. 議題

番組『ゆったりずむ』に関する意見交換

5. 議事の概要

番組『ゆったりずむ』について意見交換を行った。

6. 審議内容

はじめに当該番組の企画概要を説明し、過日放送分の内容を委員に聴取していただいた。  
その後、それぞれ意見を出していただいた。

審議委員からの意見

1. 誰がターゲットになっているかが分からない。それに伴い、何を伝えるのかも不明瞭。出演者の中には高校生もいるようなので、どういう情報発信をしてどこに話が落ち着くのかを、番組出演者の大人の方が上手く先導して行くべきだと感じる。
2. 今回聴取した内容は、扱っている題材としてはほとんどの若者が同様に考える内容であるので、良いのではないかと考える。しかしあまりにも話の展開の仕方が自由で、番組として何を発信したのか？どこが聞きどころなのかが分からないという印象。番組にするには熟しきっていない企画という印象を禁じえないが、既に放送が始まっているということなので、現状から形になるような修正を加えていけば良いように思う。
3. 他番組中で例があったように、話題を一定のところに落ち着かせる役目の導き役が必要なのではないかと感じる。話の焦点を絞って、他方向に広がらないようにするのもいい。局側から扱うテーマをお願いしたり、ターゲットが不明瞭だという事に関して

も同様に局側で設定し、それに合わせた放送を構築していただくのも良いと思う。

4. リスナーが楽しめるような配慮が少ないように感じる。番組参加者だけが楽しい構成になってないか?と思う。
5. 通常、進行に対して「はい。」とか、「そうですね。」という相槌で済むところも、強引に笑い声を入れているという印象。笑いでごまかしてないか?と感じる。
6. リスナーがこの番組を聞いたとき、どのように感じるのか?という目線をもった制作をしていただきたいと感じる。放送後に、改めて聞き直しリスナーとしてどう感じるかの検討をしていただきたい。

#### 7. その他連絡事項

次回番組審議会を平成26年7月15日(火) 18:30より開催する事を確認した。

#### 8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- ① 自社放送:平成26年6月25日午前9時からの音楽番組の前半に特番で放送
- ② 書面の備置き:平成26年6月25日から、当該事項を記載した書面(議事録)を事務所へ備置き

以上 議事録作成 濱田 英作